

内分泌・代謝内科



診療部長・診療科長
田上 哲也

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・教育責任者
日本甲状腺学会 専門医
厚生労働省 臨床研修指導医
京都大学医学部 臨床教授・非常勤講師
京都大学 医学博士

専門分野 内科
内分泌・代謝

得意疾患 甲状腺疾患

□ スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	立木 美香	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本高血圧学会 専門医 東京女子医科大学 医学博士	内科 内分泌・代謝	
レジデント	垣田真以子	日本内科学会 認定内科医 日本抗加齢医学会 専門医 日本医師会 認定産業医	内科 内分泌・代謝	
専修医	中谷理恵子	日本内科学会 認定内科医	内科、内分泌・代謝	
専修医	小笠原辰樹		内科、内分泌・代謝	
レジデント	廣田 圭昭		内科、内分泌・代謝	
レジデント	横田 美紀	日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 専門医	内科 内分泌・代謝	
臨床研究センター・センター長	島津 章	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本糖尿病学会 専門医 京都大学医学部 臨床教授・非常勤講師 京都大学 医学博士	内科 内分泌・代謝 臨床検査医学	神経内分泌・下垂体疾患
臨床研究センター・副センター長 (内分泌代謝高血圧研究部長)	成瀬 光栄	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本高血圧学会 専門医 日本糖尿病学会 専門医 日本腎臓学会 専門医・指導医 東京医科歯科大学医学部 臨床教授・非常勤講師 東京女子医科大学 医学博士	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
臨床研究センター・室長 (臨床内分泌代謝研究室)	臼井 健	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本人類遺伝学会/日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医 厚生労働省 臨床研修指導医 京都大学医学部 臨床教授・非常勤講師 京都大学 医学博士	内科 内分泌・代謝 臨床遺伝学	神経内分泌・遺伝性疾患

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本内分泌学会研修施設 日本甲状腺学会認定施設
-------	----------------------------

1. 内分泌代謝疾患に関する、良質で高水準の医療を提供しています。
2. 満足のいく十分な説明を行い、安心できる医療を提供しています。
3. 十分な診療情報提供と逆紹介により、病診連携を促進しています。
4. 地域における内分泌代謝疾患の専門診療を担っており、1999年には内分泌代謝性疾患に関する高度専門医療施設(準ナショナルセンター)として国の指定を受けています。全国の内分泌・代謝疾患の「専門医療施設」と内分泌・代謝疾患ネットワークを構築しています。また、日本内分泌学会認定教育施設および日本甲状腺学会認定専門医施設に認定されています。

□ 主な対象疾患

● 下垂体疾患

下垂体インシデンタローマ:脳ドックなど、CTやMRIで偶然見つかった下垂体腫瘍の機能評価をします。

下垂体機能亢進症:先端巨大症(アクロメガリー)、クッシング病(下垂体性クッシング症候群)、プロラクチン産生下垂体腫瘍(プロラクチノーマ)、TSH産生下垂体腫瘍(中枢性甲状腺機能亢進症)などです。糖尿病や肥満、不順月経の原因になります。

下垂体機能低下症:シーハン症候群(出産後下垂体機能低下症)などの汎下垂体機能低下症、ACTH単独欠損症(下垂体性副腎不全)、成長ホルモン分泌不全症、リンパ球性下垂体炎、中枢性尿崩症などがあります。無月経や低身長、低血圧・低血糖、口渇・多飲・多尿などが主徴候となります。小児科からのトランジション(引き継ぎ治療)も大切です。

● 甲状腺疾患

甲状腺腫:学校検診や人間ドックなどで指摘された甲状腺腫の評価をします。

甲状腺インシデンタローマ:頸動脈エコーなどで偶然見つかった甲状腺腫瘍の良性・悪性の判定をします。

甲状腺機能亢進症:バセドウ病のほか、プランマー病(機能性結節)、妊娠性甲状腺機能亢進症があります。眼球突出や心房細動がきっかけで見つかることもあります。振戦や筋力低下の原因にもなります。コントロール不良のバセドウ病にはアイソトープ治療(¹³¹I内用療法)も考えてみてください。

破壊性甲状腺中毒症:発熱・前頸部痛を主訴とする亜急性甲状腺炎や、橋本病をベースとした無痛性甲状腺炎、インターフェロンやアミオダロンなどによる薬剤性甲状腺中毒症があります。

甲状腺機能低下症:原因として橋本病(慢性甲状腺炎)が最も多いですが、先天性甲状腺機能低下症や薬剤性甲状腺機能低下症(向精神薬など)も少なくありません。便秘や体重増加、皮膚の乾燥、顔のむくみ、脱毛などを訴えます。

● 副甲状腺疾患

高カルシウム血症:副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症や悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症、ビタミンD中毒があります。尿路結石を繰り返します。

低カルシウム血症:成人では特発性副甲状腺機能低下症があります。小児では、先天性副甲状腺機能低下症や偽性副甲状腺機能低下症があります。

骨粗鬆症:高齢化に伴い、閉経後の原発性骨粗鬆症が増加しています。ステロイドホルモンによる続発性骨粗鬆症にも注意が必要です。

● 副腎疾患

副腎インシデンタローマ:CTやMRIで偶然見つかった副腎腫瘍の機能評価をします。

副腎皮質機能亢進症:原発性アルドステロン症(PA)やクッシング症候群などがあります。多くは副腎腫瘍が原因です。高血圧や糖尿病、メタボリック症候群の原因になります。高血圧の~10%にPAが見つかります。当院では副腎静脈サンプリングが可能です。

副腎髄質機能亢進症:褐色細胞腫や傍神経節腫が原因です。術後数年後に転移が見つかるケースも少なくありません。発作性の高血圧が特徴です。

副腎皮質機能低下症:アヂソン病や先天性副腎過形成などが原因となります。急性副腎不全(副腎クリーゼ)を発症することがあります。

●その他の内分泌代謝疾患

性腺疾患：ターナー症候群、クラインフェルター症候群、多嚢胞性卵巣症候群などです。

生活習慣病：高血圧（高血圧の約15%はホルモンの異常による内分泌性高血圧で、種々のホルモン過剰が原因になります。適確な診断と治療で治癒可能なことが少なくありません）。その他、メタボリック症候群、脂質異常症、高尿酸血症、電解質異常（低カリウム血症、低ナトリウム血症など）なども診療しています。

遺伝性疾患：多発性内分泌腺腫症（MEN）などです。一部の疾患では遺伝子検査が可能です。白井医師（遺伝診療部）にご相談ください。

□診療（業務）内容

●内分泌代謝疾患とは「ホルモンの乱れに起因する病気」を総称するもので、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性ホルモンの異常をきたす疾患の他、内分泌疾患を疑う必要のある、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症などの生活習慣病、電解質異常、骨粗鬆症などを対象として、診療にあたっています。

●外来では、血液検査、画像検査（レントゲン、CT、MRI、アイソトープ検査や甲状腺エコー）、甲状腺の細胞診などを行っています。遺伝子診断・遺伝相談、セカンドオピニオン外来を実施しています。

●入院では、上記疾患の診断と治療の他、バセドウ病のアイソトープ治療、甲状腺眼症のステロイドパルス療法、原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリング検査などを実施しています。

□診療実績（平成26年度）

入院患者数

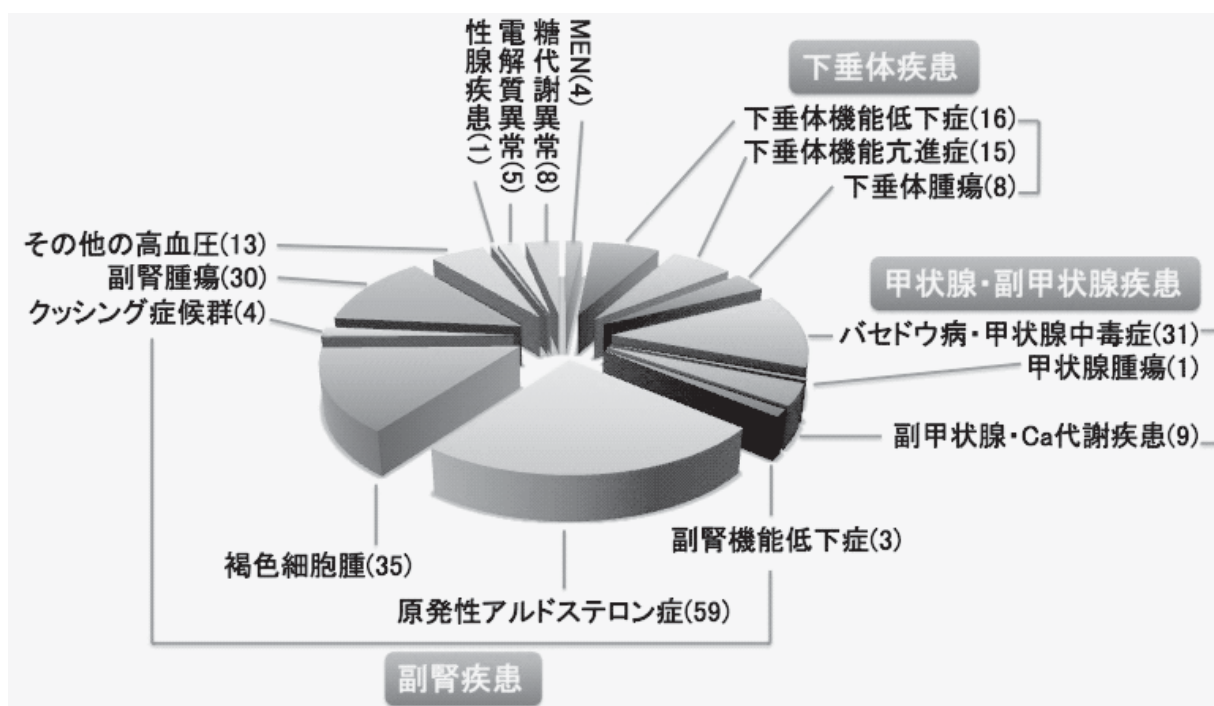
	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2014年度	5.5名	228名	8.6日

外来患者数

	1日平均患者数
2014年度	60.2名

主な検査の件数など

	甲状腺エコー	甲状腺細胞診
2014年度	1,670件	168件



□ 学術活動報告(学会・研究発表 など)

区分	演者	演題	学会名
国際学会	Kakita M, Tsuiki M, Ueda Y, Nakao K, Nakatani R, Nanba K, Usui T, Tagami T, Shimatsu A, Naruse M	Electrocardiographic Left Ventricular Hypertrophy (ECG-LVH) in Primary Aldosteronism.	ENDO 2014: The Endocrine Society's 96th Annual Meeting & Expo 2014 2014/6/21-6/24 Chicago
国際学会	Kakita M, Tsuiki M, Nakatani R, Nanba K, Usui T, Tagami T, Abe T, Shimatsu A, Naruse A	A case of recurrent malignant paraganglioma responded to CVD chemotherapy after repeated surgery and MBG radiotherapy	International Symposium on Pheochromocytoma and Paraganglioma 2014 2014/9/17-9/20 Kyoto
国内学会	田上 哲也、立木 美香、中尾 佳奈子、中谷 理恵子、垣田 真以子、植田 洋平、松尾 奈緒美、白井 健、成瀬 光栄、島津 章	甲状腺中毒症状の特異性に関する検討	第111回日本内科学会講演会 2014.4.11-13 東京
国内学会	福田 佑紀、二若 久美、主田 綾佳、根津 祥子、小山 理恵、笠原 正登、田上 哲也、森山 賢治	合成活性型ビタミンD3の転写活性の比較評価	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	垣田 真以子、木戸 愛、白井 健、植田 洋平、中谷 理恵子、中尾 佳奈子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、笹野 公伸、島津 章	FDG-PETで強陽性を呈し副腎皮質癌との鑑別が困難だったadrenocortical oncocytomaと考えられた副腎腫瘍の一例	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	中谷 理恵子、白井 健、加藤 純子、植田 洋平、垣田 真以子、中尾 佳奈子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、島津 章	21歳で両側褐色細胞腫が発見され遺伝学的検査にて診断されたvon Hippel-Lindau(VHL)病	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	小山 理恵、二若 久美、福田 佑紀、主田 綾佳、根津 祥子、山本 浩範、笠原 正登、田上 哲也	活性型ビタミンD3によるエネルギー代謝調節メカニズムの基礎的検討	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	中尾 佳奈子、立木 美香、中谷 理恵子、植田 洋平、垣田 真以子、田上 哲也、白井 健、島津 章、橋本 重厚、方波見 卓行、小河 淳、奥村 中、馬越 洋宜、成瀬 光栄	原発性アルドステロン症術後の腎機能悪化の予知因子	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	垣田 真以子、立木 美香、植田 洋平、中谷 理恵子、中尾 佳奈子、難波 多拳、白井 健、田上 哲也、島津 章、成瀬 光栄	原発性アルドステロン症における心電図を用いた左室肥大の検討	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	松尾 奈緒美、立木 美香、中尾 佳奈子、中谷 理恵子、垣田 真以子、植田 洋平、白井 健、田上 哲也、島津 章、土居 健太郎、成瀬 光栄	機能確認検査と副腎静脈サンプリングの局在判定が乖離を示した原発性アルドステロン症疑いの若年者高血圧の1例	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	立木 美香、中尾 佳奈子、難波 多拳、植田 洋平、垣田 真以子、中谷 理恵子、白井 健、田上 哲也、広川 侑奨、田辺 晶代、島津 章、成瀬 光栄	原発性アルドステロン症の機能確認検査で病型診断が可能か	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	根津 祥子、二若 久美、主田 綾佳、小山 理恵、福田 佑紀、原 正登、田上 哲也、森山 賢治	IGF-1以降のエネルギー代謝調節に関する標的遺伝子の探索	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	主田 綾佳、二若 久美、根津 祥子、小山 理恵、福田 佑紀、笠原 正登、田上 哲也、森山 賢治	GHのエネルギー代謝調節に関する基礎的検討	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	中谷 理恵子、浅井 志高、植田 洋平、垣田 真以子、中尾 佳奈子、立木 美香、白井 健、田上 哲也、方波見 卓行、島津 章、成瀬 光栄	副腎皮質癌12例の臨床像・治療効果・予後に関する検討	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	垣田 真以子、難波 多拳、安井 久見、植田 洋平、中谷 理恵子、中尾 佳奈子、立木 美香、白井 健、田上 哲也、成瀬 光栄、島津 章	多発肝転移を伴う肺原発神経内分泌腫瘍による異所性ACTH産生腫瘍に対するエベロリムスの治療効果	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	田上 哲也、二若 久美、森山 賢治、白井 健、島津 章、成瀬 光栄	甲状腺ホルモンおよびビタミンDによる糖・脂質・エネルギー代謝に関わる遺伝子の発現調節	第87回日本内分泌学会学術総会 2014.4.24-26 福岡
国内学会	根津 祥子、二若 久美、主田 綾佳、小山 理恵、福田 佑紀、笠原 正登、田上 哲也、森山 賢治	PI3K/Akt経路のシグナル伝達における基礎的検討	第57回日本糖尿病学会年次学術集会 2014.5.22-24 大阪
国内学会	主田 綾佳、二若 久美、根津 祥子、小山 理恵、福田 佑紀、笠原 正登、田上 哲也、森山 賢治	JAK/STAT経路によるエネルギー代謝調節に関する基礎的検討	第57回日本糖尿病学会年次学術集会 2014.5.22-24 大阪
国内学会	垣田 真以子、難波 多拳、今井 更衣子、江川 晴人、小笠原 辰樹、廣田 圭昭、馬越 洋宜、横田 美紀、中谷 理恵子、中尾 佳奈子、立木 美香、白井 健、田上 哲也、成瀬 光栄、高倉 賢二、島津 章	治療抵抗性的高血圧を契機に発見されたCushing症候群合併妊娠の一例	第29回日本女性医学学会学術集会 2014.11.1-2 東京
国内学会	垣田 真以子、小笠原 辰樹、松尾 奈緒美、白井 健、廣田 圭昭、横田 美紀、中谷 理恵子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、山本 鉄郎、広川 侑奨、元石 充、澤井 聡、中本 裕士、河本 泉、島津 章	多発性内分泌腫瘍症1型における組織別腫瘍発症機構についての検討	第18回日本内分泌病理学会学術集会 2014.11.1-2 東京
国内学会	小笠原 辰樹、立木 美香、廣田 圭昭、横田 美紀、中谷 理恵子、垣田 真以子、白井 健、田上 哲也、上戸 賢、奥村 和弘、桑田 博仁、辻井 悟、藤田 久美、本庄 原、島津 章、成瀬 光栄	コレチゾール及びアルドステロン産生を認めた副腎皮質癌の一例	第18回日本内分泌病理学会学術集会 2014.11.1-2 東京
国内学会	廣田 圭昭、金本 巨哲、山下 唯、金井 有吾、桑原 智子、上田 依利子、藤井 寿人、田浦 大輔、曾根 正勝、三浦 晶子、八十田 明宏、荒井 宏司、田上 哲也、稲垣 暢也	心房細動を契機に診断したR429Q変異甲状腺ホルモン不応症の一例	第57回日本甲状腺学会学術集会 2014.11.13-15 大阪

国内学会	中谷 理恵子、小笠原 辰樹、廣田 圭昭、横田 美紀、垣田 真以子、立木 美香、白井 健、成瀬 光栄、田上 哲也	甲状腺中毒症の鑑別に苦慮した2例	第57回日本甲状腺学会学術集会	2014.11.13-15	大阪
国内学会	垣田 真以子、中尾 佳奈子、小笠原 辰樹、廣田 圭昭、横田 美紀、中谷 理恵子、立木 美香、白井 健、成瀬 光栄、島津 章、田上 哲也	¹³¹ I内用療法に有痛性筋痙攣を繰り返したBasedow病の1例	第57回日本甲状腺学会学術集会	2014.11.13-15	大阪
国内学会	田上 哲也、垣田 真以子、中谷 理恵子、廣田 圭昭、小笠原 辰樹、横田 美紀、立木 美香、白井 健、成瀬 光栄、島津 章	甲状腺機能異常症状の特異性について	第57回日本甲状腺学会学術集会	2014.11.13-15	大阪
国内学会	廣嶋 佳歩、中谷 理恵子、白井 健、小笠原 辰樹、廣田 圭昭、横田 美紀、垣田 真以子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、奥野 博、三品 睦輝、加藤 純子、島津 章	副腎皮質機能温存を試みたVHL病に伴う両側褐色細胞腫の手術例	第24回臨床内分泌代謝Update	2014.11.28-29	埼玉
国内学会	垣田 真以子、松尾 奈緒美、小笠原 辰樹、白井 健、廣田 圭昭、横田 美紀、中谷 理恵子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、島津 章	複数の臓器病変が同時に明らかとなったMEN1型への治療アプローチ	第24回臨床内分泌代謝Update	2014.11.28-29	埼玉
国内学会	廣田 圭昭、白井 健、中谷 理恵子、加藤 友美、湯野 暁子、小笠原 辰樹、馬越 洋宣、横田 美紀、垣田 真以子、田上 哲也、成瀬 光栄、島津 章	両側褐色細胞腫における癌抑制遺伝子コピ数とエピゲノム解析	第24回臨床内分泌代謝Update	2014.11.28-29	埼玉
国内学会	中谷 理恵子、小笠原 辰樹、廣田 圭昭、横田 美紀、垣田 真以子、立木 美香、白井 健、成瀬 光栄、島津 章、田上 哲也	Basedow病の ¹³¹ I内用療法における至適投与量の検討	第24回臨床内分泌代謝Update	2014.11.28-29	埼玉
国内学会	松尾 奈緒美、植田 洋平、白井 健、廣田 圭昭、中谷 理恵子、垣田 真以子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、島津 章	TSHR体細胞変異を伴うPlummer病とPHPTの合併例	第24回臨床内分泌代謝Update	2014.11.28-29	埼玉
国内学会	小笠原 辰樹、廣田 圭昭、白井 健、横田 美紀、中谷 理恵子、垣田 真以子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、島津 章	偶発的に後腹膜腫瘍を指摘され褐色細胞腫と診断した1例	第206回日本内科学会近畿地方会	2014.12.6	京都
研究会	垣田 真以子、中尾 佳奈子、小笠原 辰樹、廣田 圭昭、横田 美紀、中谷 理恵子、立木 美香、白井 健、成瀬 光栄、島津 章、田上 哲也	¹³¹ I内用療法に有痛性筋痙攣を繰り返したBasedow病の1例	第14回京滋臨床甲状腺懇話会	2014.7.5	京都
研究会	小笠原 辰樹、松尾 奈緒美、垣田 真以子、白井 健、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、山本 鉄郎、広川 侑奨、中本 裕士、河本 泉、島津 章	多彩な神経内分泌腫瘍が同時に明らかとなったMEN1型	日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会	2014.9.20	東京
研究会	田上 哲也	腎臓と骨の因果な関係	伏見CKD医療連携の会	2014.9.27	京都
研究会	廣田 圭昭、中谷 理恵子、白井 健、小笠原 辰樹、横田 美紀、垣田 真以子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、青木 友和、藤澤 一朗、島津 章	海綿静脈洞サンプリングでACTHの上昇を認めなかった下垂体マイクロアデノーマによるクッシング病の1例	第87回京都内分泌同好会	2014.10.18	京都
研究会	中谷 理恵子、植田 洋平、垣田 真以子、津曲 綾、中尾 佳奈子、難波 多季、立木 美香、白井 健、成瀬 光栄、島津 章、田上 哲也	チアマゾールによる無顆粒球症に対してG-CSF治療を行ったバセドウ病の1症例	第37回京都甲状腺研究会	2015.1.24	京都
研究会	田上 哲也	骨粗鬆症Update	第4回京都医療センター医療連携フォーラム	2015.1.31	京都
研究会	垣田 真以子、小笠原 辰樹、白井 健、廣田 圭昭、横田 美紀、中谷 理恵子、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、片岡 通子、安里 亮、島津 章	MEN1遺伝子に新規変異を同定した多発性内分泌腫瘍症(MEN) 1型症例	第88回京都内分泌同好会	2015.2.28	京都
研究会	横田 美紀	Primary aldosteronism and Cushing's syndrome by multiple adrenal tumors.	Mayo-Japan Endocrine Seminar	2015.1.15	京都
研究会	立木 美香	人間ドック健診認定医・専門医が見逃してはいけない内分泌性高血圧	第39回人間ドック健診認定医・専門医研修会	2015.3.8	東京

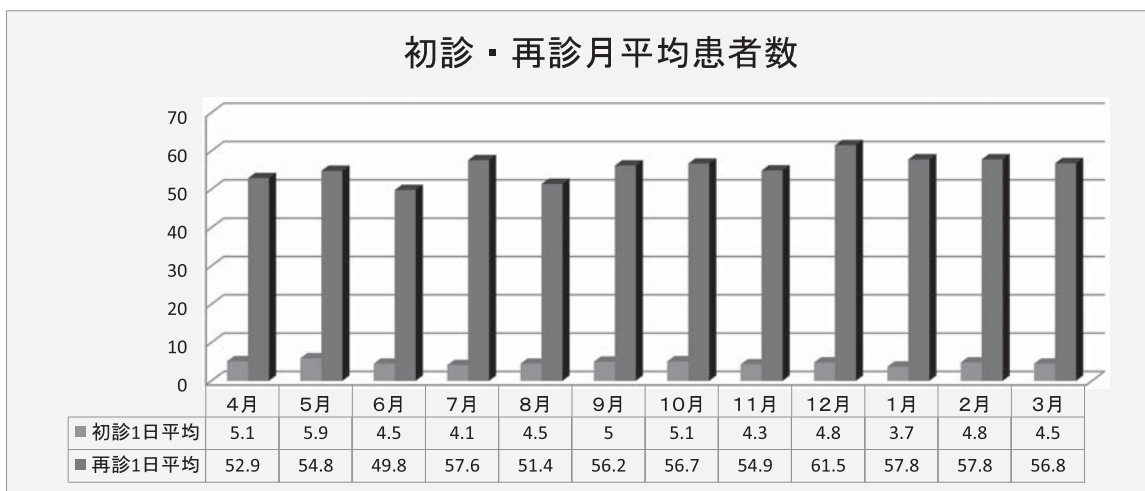
□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者	タイトル	巻・ページ		
Endocr J	Ueda Y, Tagami T, Tamanaha T, Kakita M, Tanase-Nakao K, Nanba K, Usui T, Naruse M, Shimatsu A.	A family of RTH β with p.R316C mutation presenting occasional syndrome of inappropriate secretion of TSH.	Endocr J. 2015 Mar 30;62(3):251-60. doi: 10.1507/endocrj.EJ14-0422. Epub 2014 Dec 12.		
Endocrinol Diabetes Metab Case Rep	Kawashima ST, Usui T, Ueda Y, Kobayashi MK, Tsuiji M, Tanase-Nakao K, Nanba K, Tagami T, Naruse M, Watanabe Y, Asato R, Kato S, Shimatsu A.	Primary hyperparathyroidism due to atypical vertically long cystic adenoma.	Endocrinol Diabetes Metab Case Rep. 2014;2014:140086. doi: 10.1530/EDM-14-0086. Epub 2014 Oct 1.		
Clin Endocrinol (Oxf)	Tanase-Nakao K, Naruse M, Nanba K, Tsuiji M, Tagami T, Usui T, Okuno H, Shimatsu A, Hashimoto S, Katabami T, Ogo A, Okumura A, Umakoshi H, Suzuki T.	Chronic kidney disease score for predicting postoperative masked renal insufficiency in patients with primary aldosteronism.	Clin Endocrinol (Oxf). 2014 Nov;81(5):665-70. doi: 10.1111/cen.12497. Epub 2014 Jun 12.		
甲状腺・副甲状腺疾患診療ポケットブック	田上 哲也		中外医学社		全185頁
今日の診療のためにガイドライン外来診療2014	田上 哲也	甲状腺機能異常症	日経メディカル開発		232-248

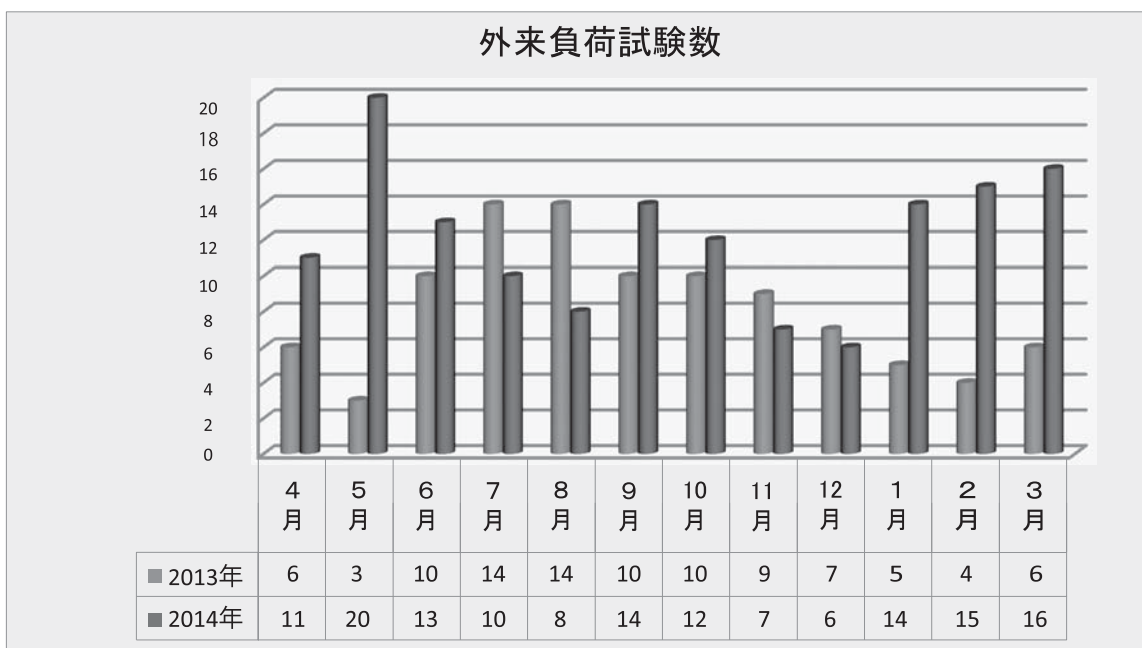
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	田上 哲也	甲状腺機能検査の選択方法と読み方 のポイントは？	診断と治療社		40-41
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	田上 哲也	潜在性甲状腺機能亢進症は治療す べきか？	診断と治療社		43
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	田上 哲也	甲状腺機能亢進症で抗TSH受容体抗 体が陰性の場合はどうする？	診断と治療社		44
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	田上 哲也	亜急性甲状腺炎と橋本病の鑑別のポ イントは？	診断と治療社		57-58
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	田上 哲也	潜在性甲状腺機能低下症の治療方針 は？	診断と治療社		64-65
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	成瀬 光栄、立木 美香、難波 多拳	原発性アルドステロン症の機能確認 検査の種類と特徴は？	診断と治療社		102-103
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	成瀬 光栄、馬越 洋宜	副腎静脈サンプリング (AVS) の判定基 準は？	診断と治療社		104-105
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	立木 美香、馬越 洋宜、田辺 晶代、成瀬 光栄	サブクリニカルCushing症候群の手術 適応は？	診断と治療社		109
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	立木 美香、成瀬 光栄	褐色細胞腫クリーゼの診断と治療は？	診断と治療社		132-133
内分泌代謝疾患クリニカル ケース100	馬越 洋宜、立木 美香、成瀬 光栄	膵神経内分泌腫瘍 (PNET) の診断と治 療法のポイントは？	診断と治療社		165-166
内科外来処方navi	田上 哲也	亜急性甲状腺炎	中外医学社		115
内科外来処方navi	田上 哲也	甲状腺腫瘍	中外医学社		116-117
京都醫學會雑誌	田上 哲也、立木 美香、垣田 真以子、中 谷 理恵子、廣田 圭昭、横田 美紀、小笠 原 辰樹、馬越 洋宜、白井 健、成瀬 光栄、 島津 章	甲状腺中毒症状の特異性に関する検討	京都府医師会	61(2)	115-122
京都醫學會雑誌	中谷 理恵子、小笠原 辰樹、廣田 圭昭、 横田 美紀、垣田 真以子、立木 美香、 白井 健、成瀬 光栄、島津 章、田上 哲也	Basedow病 ¹³¹ I内用療法における至適 投与量の検討	京都府医師会	61(2)	123-128
成長科学協会研究年報 (0386-7617)37号 Page123-130(2014.08)	田上 哲也、森山 賢治	成長ホルモン/IGF-1シグナル下流の転 写因子群と核内受容体による糖・脂質 ・エネルギー代謝調節メカニズムに関 する研究	成長科学協会	37	123-130
成長科学協会研究年報 (0386-7617)37号 Page173-176(2014.08)	森山 賢治、二若 久美、田上 哲也	成長ホルモン/インスリン様成長因子-1 のエネルギー代謝制御における分子 基盤の解明	成長科学協会	37	173-176
日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)90巻Suppl. Page72-74(2014.09)	植田 洋平、渡邊 知一、白井 健、垣田 真 以子、中谷 理恵子、中尾 佳奈子、難波 多 拳、立木 美香、田上 哲也、成瀬 光栄、金 子 恵一、本間 桂子、長谷川 奉延、島津 章	未治療成人17 α 水酸化酵素欠損症患 者の遺伝学的、内分泌学的解析	日本内分泌学 会雑誌	90(Suppl.)	72-74
日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)90巻Suppl. Page81-83(2014.09)	中尾 佳奈子、白井 健、八幡 兼成、中谷 理恵子、植田 洋平、垣田 真以子、金子 恵一、難波 多拳、立木 美香、田上 哲也、 成瀬 光栄、島津 章	Gitelman症候群におけるgenetic background解析	日本内分泌学 会雑誌	90(Suppl.)	81-83
ACTH RELATED PEPTIDES	中谷 理恵子、廣嶋 佳歩、白井 健、松尾 奈緒美、植田 洋平、垣田 真以子、立木 美香、中尾 佳奈子、田上 哲也、成瀬 光栄、 加藤 純子、島津 章	VHL病に伴う両側褐色細胞腫の1例	第25回間脳・ 下垂体・副腎 系研究会報告	25	47-49

□ 内分泌・甲状腺・高血圧外来 平成26年度看護概況内容

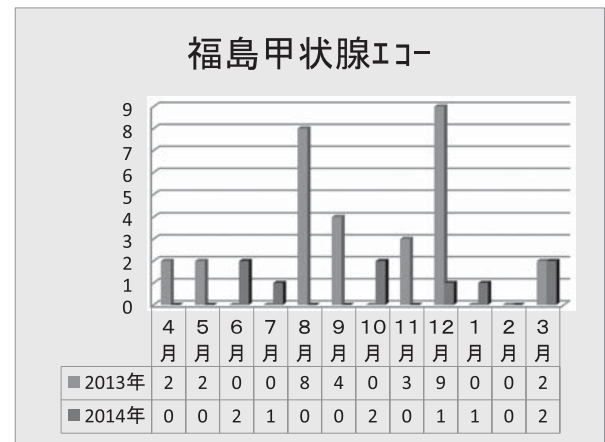
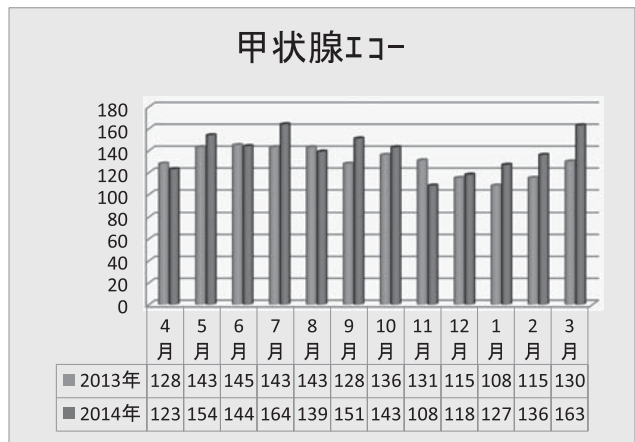
- 平成24年12月より内分泌・甲状腺外来から内分泌・甲状腺・高血圧外来に名称が変わり、高血圧の初診患者を全て当科で対応することとなった。
- 内分泌・甲状腺・高血圧センターは、小児から高齢者と年齢層も幅広く、また疾患も多岐にわたる。
- 治療方針や診断確定のために外来での安静採血や負荷試験、検査入院が必要となることが多い。
- 平成25年1月より、東日本大震災で被災し福島県より避難された放射能影響の可能性のある子供の方を対象にした甲状腺エコーの協力施設となり、木曜日と金曜日に福島エコー枠を設け実施している。
- 内分泌・甲状腺・高血圧外来では負荷試験や検査に不安をもったり苦痛をとまなわないように精神的なフォローに努めている。
- 疾患によっては服薬や自己注射など長期にわたってコントロールを必要とするため、(外来→入院→外来と)継続した関わり、患者の立場に立った援助が行えるように日々心がけている。
- 他院で検査を受け甲状腺疾患を指摘されたり、下垂体疾患で治療中だが専門医での治療目的、高血圧で降圧剤を服用するがコントロールが悪く紹介状を持参されたりして受診される患者さんが多い。



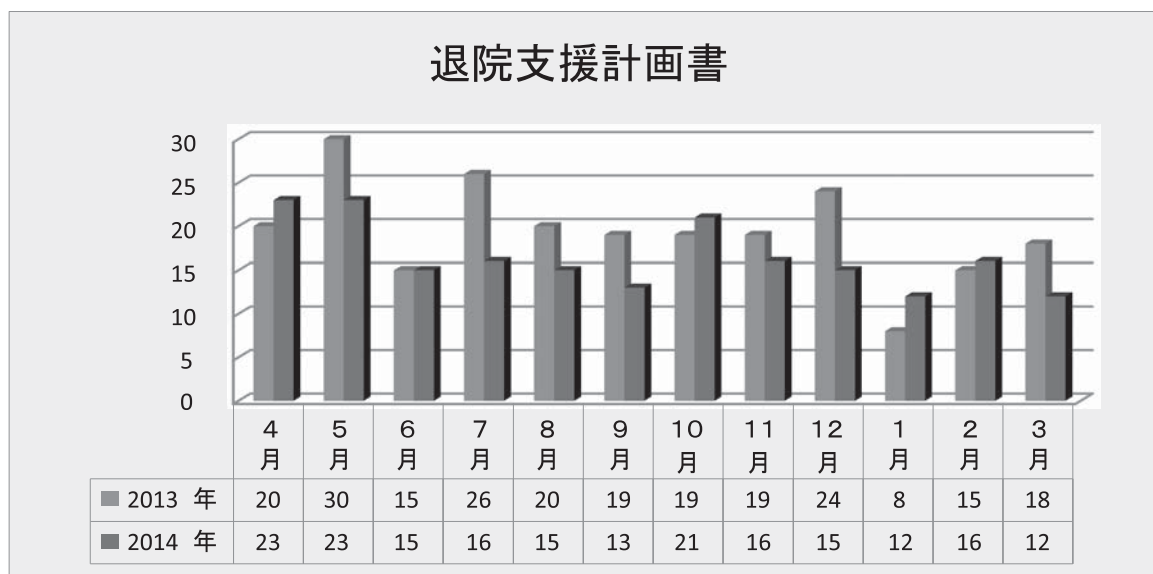
- 高血圧疾患が増加しており副腎偶発腫瘍や原発性アルドステロン症などの鑑別疾患や下垂体疾患評価目的で外来で安静採血や負荷試験を実施している。安静採血はベッドに30分安静になった状態で採血を行っている。
- 下垂体疾患では成長ホルモンの筋肉注射が多い。油性のため調整時、注射時は慎重を要する。成長ホルモン自己注射導入では若い患者さんが多いため外来受診時に患者さんとその家族に継続的に関わりがもてるように心がけている。



- 甲状腺エコーの細胞診検査は穿刺への恐怖と不安感がみられるためできるだけ付き添い状態把握に努めている。
- 福島甲状腺エコーでは2歳から21歳までの若年者が受診される。東日本大震災で福島で被災し原発の影響に不安を抱えて来院される両親が多く、また実際に検査を受けるは小さい子供さんが多いため検査が不安無くスムーズに進むように心がけている。



- 2012年11月より活用になった退院支援計画書は入院説明時に記載し、支援必要患者には自宅での状況やサービスの使用状況、介護保険の申請状況等を確認しカルテ記載するようにして、病棟との連携がはかれるようにしている。
- 退院時次回受診時の説明や退院後の指導も行えるときは病棟に行って行っている。



(内分泌・甲状腺・高血圧センター看護師 細井 静香)